

# 旧丸山中学校屋内運動場外装復旧工事



4 外 壁 改 修 工 事	8 シーリング改修 工法の種類	・シーリング充てん工法 (3.7.4) ・シーリング再充てん工法 (3.7.5) ・拡幅シーリング再充てん工法 (拡幅 mm、拡幅深さ mm) (3.7.6) ・ブリッジ工法 (3.7.7)																									
	1 施工数量	※行う ・行わない ・調査範囲 ※全面 ・外壁 (吹付タイル・タイル貼部分) ・調査項目 ひび割れ部 (幅0.2mm、0.2mm~1.0mm、1.0mm以上) はがれ及びはく落部分 浮き部 ・調査方法 目視及びミリスケール等 足場 ・枠組 ・ゴンドラ ・報告書 3部監督員に提出 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付) 調査業者 材料メーカーの指定する施工業者とする																									
	2 改修工法の種類 (4.1.4)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>外 壁</th> <th>種 類</th> <th>改 修 工 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・コンクリート打放し 仕上げ 軒裏</td> <td>・ひび割れ部</td> <td>・樹脂注入工法 ※Uカットシーリング材充てん工法 ・シーリング工法</td> </tr> <tr> <td>・欠損部 庇</td> <td>※充てん工法 ・コンクリート打放し面改修工法 (F5-吉田若返りシフト程度)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・モルタル塗り 仕上げ 外壁</td> <td>・ひび割れ部</td> <td>・樹脂注入工法 ※Uカットシーリング材充てん工法 ・シーリング工法</td> </tr> <tr> <td>・欠損部</td> <td>※充てん工法 ・モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td>・浮き部</td> <td>・アコビシロウ部分球樹脂注入工法 ・アコビシロウ全面球樹脂注入工法 ・アコビシロウ全面球リペアメントスラリー注入工法 ※注入口付アコビシロウ部分球樹脂注入工法 ・注入口付アコビシロウ全面球樹脂注入工法 ・注入口付アコビシロウ全面球リペアメントスラリー注入工法 ・充てん工法 ・モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・タイル貼り 仕上げ外壁</td> <td>・ひび割れ部</td> <td>・樹脂注入工法 ※Uカットシーリング材充てん工法 ・シーリング工法</td> </tr> <tr> <td>・欠損部</td> <td>※充てん工法 ・モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td>・浮き部</td> <td>・アコビシロウ部分球樹脂注入工法 ・アコビシロウ全面球樹脂注入工法 ・アコビシロウ全面球リペアメントスラリー注入工法 ・注入口付アコビシロウ部分球樹脂注入工法 ・注入口付アコビシロウ全面球樹脂注入工法 ・注入口付アコビシロウ全面球リペアメントスラリー注入工法 ・注入口付アコビシロウ球樹脂注入タイル固定工法 ※タイル部分貼替え工法 ・タイル貼替え工法</td> </tr> <tr> <td>・塗り仕上げ</td> <td>・吹替部</td> <td>・薄付け仕上げ塗材塗り ・厚付け仕上げ塗材塗り ※複層仕上げ塗材塗り ・各種塗料塗り ・マスキング塗材塗り</td> </tr> </tbody> </table>	外 壁	種 類	改 修 工 法	・コンクリート打放し 仕上げ 軒裏	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 ※Uカットシーリング材充てん工法 ・シーリング工法	・欠損部 庇	※充てん工法 ・コンクリート打放し面改修工法 (F5-吉田若返りシフト程度)	・モルタル塗り 仕上げ 外壁	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 ※Uカットシーリング材充てん工法 ・シーリング工法	・欠損部	※充てん工法 ・モルタル塗替え工法	・浮き部	・アコビシロウ部分球樹脂注入工法 ・アコビシロウ全面球樹脂注入工法 ・アコビシロウ全面球リペアメントスラリー注入工法 ※注入口付アコビシロウ部分球樹脂注入工法 ・注入口付アコビシロウ全面球樹脂注入工法 ・注入口付アコビシロウ全面球リペアメントスラリー注入工法 ・充てん工法 ・モルタル塗替え工法	・タイル貼り 仕上げ外壁	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 ※Uカットシーリング材充てん工法 ・シーリング工法	・欠損部	※充てん工法 ・モルタル塗替え工法	・浮き部	・アコビシロウ部分球樹脂注入工法 ・アコビシロウ全面球樹脂注入工法 ・アコビシロウ全面球リペアメントスラリー注入工法 ・注入口付アコビシロウ部分球樹脂注入工法 ・注入口付アコビシロウ全面球樹脂注入工法 ・注入口付アコビシロウ全面球リペアメントスラリー注入工法 ・注入口付アコビシロウ球樹脂注入タイル固定工法 ※タイル部分貼替え工法 ・タイル貼替え工法	・塗り仕上げ	・吹替部	・薄付け仕上げ塗材塗り ・厚付け仕上げ塗材塗り ※複層仕上げ塗材塗り ・各種塗料塗り ・マスキング塗材塗り
外 壁	種 類	改 修 工 法																									
・コンクリート打放し 仕上げ 軒裏	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 ※Uカットシーリング材充てん工法 ・シーリング工法																									
	・欠損部 庇	※充てん工法 ・コンクリート打放し面改修工法 (F5-吉田若返りシフト程度)																									
・モルタル塗り 仕上げ 外壁	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 ※Uカットシーリング材充てん工法 ・シーリング工法																									
	・欠損部	※充てん工法 ・モルタル塗替え工法																									
	・浮き部	・アコビシロウ部分球樹脂注入工法 ・アコビシロウ全面球樹脂注入工法 ・アコビシロウ全面球リペアメントスラリー注入工法 ※注入口付アコビシロウ部分球樹脂注入工法 ・注入口付アコビシロウ全面球樹脂注入工法 ・注入口付アコビシロウ全面球リペアメントスラリー注入工法 ・充てん工法 ・モルタル塗替え工法																									
・タイル貼り 仕上げ外壁	・ひび割れ部	・樹脂注入工法 ※Uカットシーリング材充てん工法 ・シーリング工法																									
	・欠損部	※充てん工法 ・モルタル塗替え工法																									
	・浮き部	・アコビシロウ部分球樹脂注入工法 ・アコビシロウ全面球樹脂注入工法 ・アコビシロウ全面球リペアメントスラリー注入工法 ・注入口付アコビシロウ部分球樹脂注入工法 ・注入口付アコビシロウ全面球樹脂注入工法 ・注入口付アコビシロウ全面球リペアメントスラリー注入工法 ・注入口付アコビシロウ球樹脂注入タイル固定工法 ※タイル部分貼替え工法 ・タイル貼替え工法																									
・塗り仕上げ	・吹替部	・薄付け仕上げ塗材塗り ・厚付け仕上げ塗材塗り ※複層仕上げ塗材塗り ・各種塗料塗り ・マスキング塗材塗り																									
	3 改修工法等	<p>樹脂注入工法 (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)</p> <p>種類 ・自動式低圧球樹脂注入 注入量 ( ) 注入孔間隔 ( ) ・手動式球樹脂注入 注入量 ( ) 注入孔間隔 ( ) ・機械式球樹脂注入 注入量 ( ) 注入孔間隔 ( )</p> <p>検査 ・行う ・行わない</p> <p>Uカットシーリング材充てん工法 (4.3.5)</p> <p>種類 ・シーリング用材充てん ( P U - 2 ) ・可とう性エポキシ樹脂充てん平滑仕上 (巾10mm*深さ10mm以上) (日本樹脂施工協同組合程度)</p> <p>シーリング用材のうえにポリマーセメントモルタル充てん ・行う ・行わない</p>																									

シーリング工法 (4.3.6) (4.4.7)	種類 ・パテ状エポキシ樹脂シーリング ・可とう性エポキシ樹脂シーリング																				
充てん工法 (4.3.7) (4.4.8)	種類 ・エポキシ樹脂モルタル充てん (日本樹脂施工協同組合程度) ・ポリマーセメントモルタル充てん																				
モルタル塗替え工法 (4.4.9)	アコビシロウ部分球樹脂注入工法 (4.4.10) (図4.4.1)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般部分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>狭幅部</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施 工 箇 所		一般部分		指定部分		狭幅部													
施 工 箇 所																					
一般部分																					
指定部分																					
狭幅部																					
	アコビシロウ全面球樹脂注入工法 (4.4.11) (図4.4.2)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般部分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>狭幅部</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施 工 箇 所		一般部分		指定部分		狭幅部													
施 工 箇 所																					
一般部分																					
指定部分																					
狭幅部																					
	アコビシロウ全面球リペアメントスラリー注入工法 (4.4.12) (図4.4.2)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般部分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>狭幅部</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施 工 箇 所		一般部分		指定部分		狭幅部													
施 工 箇 所																					
一般部分																					
指定部分																					
狭幅部																					
	注入口付アコビシロウ部分球樹脂注入工法 (4.4.13) (図4.4.3)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般部分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>狭幅部</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施 工 箇 所		一般部分		指定部分		狭幅部													
施 工 箇 所																					
一般部分																					
指定部分																					
狭幅部																					
	注入口付アコビシロウ全面球樹脂注入工法 (4.4.14) (図4.4.4)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般部分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>狭幅部</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施 工 箇 所		一般部分		指定部分		狭幅部													
施 工 箇 所																					
一般部分																					
指定部分																					
狭幅部																					
	注入口付アコビシロウ全面球リペアメントスラリー注入工法 (4.4.15) (図4.4.4)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般部分</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部分</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施 工 箇 所		一般部分		指定部分															
施 工 箇 所																					
一般部分																					
指定部分																					
	<p>タイル部分貼替え工法 (4.5.7)</p> <p>種類 ・ポリマーセメントモルタルによる貼替え ・球樹脂による貼替え</p> <p>貼付用モルタル及び目地材の既成調合材料 ・使用する ・使用しない</p> <p>タイル貼替え工法 (4.5.8)</p> <p>種類 (表4.5.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイルの種類</th> <th>タイル寸法</th> <th>工 法</th> <th>塗り厚 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・外装タイル</td> <td rowspan="2">・小口タイル以上二丁掛以下</td> <td>・密着貼り</td> <td>5~8</td> </tr> <tr> <td>・改良積上げ貼り</td> <td>4~7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ユニットタイル</td> <td rowspan="2">・25mm角を超え小口タイル未満 ・25mm角以下</td> <td>・改良任着貼り</td> <td>下地側 4~6 タイル側 3~4</td> </tr> <tr> <td>・マスク貼り</td> <td>3~4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・タイルタイル貼り</td> <td>3~5</td> </tr> </tbody> </table>	タイルの種類	タイル寸法	工 法	塗り厚 (mm)	・外装タイル	・小口タイル以上二丁掛以下	・密着貼り	5~8	・改良積上げ貼り	4~7	・ユニットタイル	・25mm角を超え小口タイル未満 ・25mm角以下	・改良任着貼り	下地側 4~6 タイル側 3~4	・マスク貼り	3~4			・タイルタイル貼り	3~5
タイルの種類	タイル寸法	工 法	塗り厚 (mm)																		
・外装タイル	・小口タイル以上二丁掛以下	・密着貼り	5~8																		
		・改良積上げ貼り	4~7																		
・ユニットタイル	・25mm角を超え小口タイル未満 ・25mm角以下	・改良任着貼り	下地側 4~6 タイル側 3~4																		
		・マスク貼り	3~4																		
		・タイルタイル貼り	3~5																		

4 目地改修工法	目地ひび割れ改修工法 (4.5.16(a))	伸縮目地改修工法 (4.5.16(b))																																														
	目地 伸縮目地 (位置 寸法 × ) 検査 シーリング接着性試験 ・行う (・簡易接着性試験) ・行わない	材料 (4.2.2) (a) エポキシ樹脂 J I S A 6 0 2 4 (建築補修用注入エポキシ樹脂) ・低粘度形 ・中粘度形 仮止めシーリング材等はエポキシ樹脂製造所の指定する製品で既存及び新規塗膜に支障のないもの	可とう性エポキシ樹脂 パテ状エポキシ樹脂 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントスラリー タイル貼替用エポキシ樹脂 磁器質タイル せっ器質タイル 建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆																																													
5 仕上げ塗材 仕上げ	種類 (4.2.2 (j)) (表4.2.4(その1)(その2))																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上形状</th> <th>工 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・薄付け仕上げ塗材 J I S A 6 9 0 9 (建築用仕上げ塗材)</td> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・可とう形 外装薄塗材Si</td> <td>・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・ローラー</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・厚付け仕上げ塗材 J I S A 6 9 0 9 (建築用仕上げ塗材)</td> <td>・外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・吹付け ・こて ・ローラー</td> </tr> <tr> <td>・可とう形 外装薄塗材E</td> <td>・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状</td> <td>・こて ・ローラー</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・防水形 外装薄塗材E</td> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・厚付け仕上げ塗材 J I S A 6 9 0 9 (建築用仕上げ塗材)</td> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し ・掻き落とし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・複層仕上げ塗材 J I S A 6 9 0 9 (建築用仕上げ塗材)</td> <td>・外装厚塗材S i</td> <td>・吹放し ・凸部処理</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材E</td> <td>・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し</td> <td>・こて ・ローラー</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・複層仕上げ塗材 J I S A 6 9 0 9 (建築用仕上げ塗材)</td> <td>・複層塗材C E</td> <td>・可とう形 複層塗材C E</td> <td>※ゆず肌状 ※ローラー</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材S i</td> <td>・複層塗材E</td> <td>・凸部処理</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・複層塗材R S</td> <td>・防水形複層塗材C E</td> <td>・防水形複層塗材E</td> <td>・凹凸模様</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材R E</td> <td>・防水形複層塗材R E</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 類	呼び名	仕上形状	工 法	・薄付け仕上げ塗材 J I S A 6 9 0 9 (建築用仕上げ塗材)	・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・可とう形 外装薄塗材Si	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー	・厚付け仕上げ塗材 J I S A 6 9 0 9 (建築用仕上げ塗材)	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて ・ローラー	・可とう形 外装薄塗材E	・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・こて ・ローラー	・防水形 外装薄塗材E	・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け	・厚付け仕上げ塗材 J I S A 6 9 0 9 (建築用仕上げ塗材)	・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し ・掻き落とし	・複層仕上げ塗材 J I S A 6 9 0 9 (建築用仕上げ塗材)	・外装厚塗材S i	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・外装厚塗材E	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し	・こて ・ローラー	・複層仕上げ塗材 J I S A 6 9 0 9 (建築用仕上げ塗材)	・複層塗材C E	・可とう形 複層塗材C E	※ゆず肌状 ※ローラー	・複層塗材S i	・複層塗材E	・凸部処理	・複層塗材R S	・防水形複層塗材C E	・防水形複層塗材E	・凹凸模様	・防水形複層塗材R E	・防水形複層塗材R E		
種 類	呼び名	仕上形状	工 法																																													
・薄付け仕上げ塗材 J I S A 6 9 0 9 (建築用仕上げ塗材)	・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け																																													
	・可とう形 外装薄塗材Si	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー																																													
・厚付け仕上げ塗材 J I S A 6 9 0 9 (建築用仕上げ塗材)	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・吹付け ・こて ・ローラー																																													
	・可とう形 外装薄塗材E	・平たん状 ・凹凸状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	・こて ・ローラー																																													
・防水形 外装薄塗材E	・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け																																													
	・厚付け仕上げ塗材 J I S A 6 9 0 9 (建築用仕上げ塗材)	・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し ・掻き落とし																																													
・複層仕上げ塗材 J I S A 6 9 0 9 (建築用仕上げ塗材)	・外装厚塗材S i	・吹放し ・凸部処理	・吹付け																																													
	・外装厚塗材E	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起し	・こて ・ローラー																																													
・複層仕上げ塗材 J I S A 6 9 0 9 (建築用仕上げ塗材)	・複層塗材C E	・可とう形 複層塗材C E	※ゆず肌状 ※ローラー																																													
	・複層塗材S i	・複層塗材E	・凸部処理																																													
・複層塗材R S	・防水形複層塗材C E	・防水形複層塗材E	・凹凸模様																																													
	・防水形複層塗材R E	・防水形複層塗材R E																																														

5 建 具 改 修 工 事	1 改修工法	・かぶせ工法 (・カバー工法 ・持出し工法 ・ノンシール工法) (5.1.3) ・撤去工法 (※はつり工法 ・引抜き工法)
	2 見本の製作	・製作する ・製作しない (5.1.5)
6 鋼 製 建 具	3 ブラインド カーテンボックス等	・再使用する ※再使用しない (5.1.6(c))
	4 7mm以下製建具	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (5.2.2) (表5.2.1)
5 網 戸	5 網戸	防虫網の材質 (5.2.3(e)) ・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製 網目 ・16メッシュ ・18メッシュ
	6 鋼製建具	鋼製建具の性能等級 (5.3.2) (表5.3.1)

旧丸山中学校屋内運動場外装復旧工事			
改修工事 特記仕様書②			

7 鋼製軽量建具	(5.4.2)			
	種類	気密性		
	・簡易気密型ドアセット	A-3		
8 ステン製建具	(5.5.2)			
	種類	気密性	水密性	
	・簡易気密型ドアセット	A-3	W-1	
9 建具用金物	(5.5.5)			
	種類	気密性	水密性	
	・簡易気密型ドアセット	A-3	W-1	
10 自動ドア	(5.5.2)			
	種類	気密性	水密性	
	・簡易気密型ドアセット	A-3	W-1	
11 重量シャッター	(5.5.2)			
	種類	気密性	水密性	
	・簡易気密型ドアセット	A-3	W-1	
12 軽量シャッター	(5.5.2)			
	種類	気密性	水密性	
	・簡易気密型ドアセット	A-3	W-1	
13 オートヘッド	(5.5.2)			
	種類	気密性	水密性	
	・簡易気密型ドアセット	A-3	W-1	

14 ガラス	(5.12.2(a))			
	種類	厚さ	備考	
	・フロート板ガラス	5mm		
15 ガラスとめ材	(5.12.2(b))			
	建具の種類	種類		
	アルミニウム製	※グレージングチャンネル形 (特見込み70mmの引違い、片引き降子の場合)		
6 内装改修工事	(6.1.3(b))			
	改修部分	改修範囲		
	・天井	図示による		
1 一般事項	(6.1.3(b))			
	改修部分	改修範囲		
	・天井	図示による		
2 既存床撤去、 下地補修	(6.2.2(a)(1))			
	既存床撤去	図示による		
	・床	図示による		
3 既存壁撤去、 下地補修	(6.2.2(a)(2))			
	既存壁撤去	図示による		
	・壁	図示による		
4 木下地等	(6.2.2(c))			
	既存壁撤去	図示による		
	・床	図示による		
5 軽量鉄骨壁下地	(6.2.2(a)(1))			
	既存床撤去	図示による		
	・床	図示による		
6 軽量鉄骨 天井下地	(6.2.2(a)(2))			
	既存壁撤去	図示による		
	・壁	図示による		
7 ビニル床シート、 ビニル床タイル 及び ゴム床タイル張り	(6.2.2(a)(1))			
	既存床撤去	図示による		
	・床	図示による		
8 合樹脂塗り床	(6.2.2(a)(2))			
	既存壁撤去	図示による		
	・壁	図示による		
9 フローリング張り	(6.2.2(c))			
	既存壁撤去	図示による		
	・壁	図示による		
10 畳敷き	(6.2.2(a)(1))			
	既存床撤去	図示による		
	・床	図示による		

14 ガラス	(5.12.2(a))			
	種類	厚さ	備考	
	・フロート板ガラス	5mm		
15 ガラスとめ材	(5.12.2(b))			
	建具の種類	種類		
	アルミニウム製	※グレージングチャンネル形 (特見込み70mmの引違い、片引き降子の場合)		
6 内装改修工事	(6.1.3(b))			
	改修部分	改修範囲		
	・天井	図示による		
1 一般事項	(6.1.3(b))			
	改修部分	改修範囲		
	・天井	図示による		
2 既存床撤去、 下地補修	(6.2.2(a)(1))			
	既存床撤去	図示による		
	・床	図示による		
3 既存壁撤去、 下地補修	(6.2.2(a)(2))			
	既存壁撤去	図示による		
	・壁	図示による		
4 木下地等	(6.2.2(c))			
	既存壁撤去	図示による		
	・壁	図示による		
5 軽量鉄骨壁下地	(6.2.2(a)(1))			
	既存床撤去	図示による		
	・床	図示による		
6 軽量鉄骨 天井下地	(6.2.2(a)(2))			
	既存壁撤去	図示による		
	・壁	図示による		
7 ビニル床シート、 ビニル床タイル 及び ゴム床タイル張り	(6.2.2(a)(1))			
	既存床撤去	図示による		
	・床	図示による		
8 合樹脂塗り床	(6.2.2(a)(2))			
	既存壁撤去	図示による		
	・壁	図示による		
9 フローリング張り	(6.2.2(c))			
	既存壁撤去	図示による		
	・壁	図示による		
10 畳敷き	(6.2.2(a)(1))			
	既存床撤去	図示による		
	・床	図示による		

7 鋼製軽量建具	(5.4.2)			
	種類	気密性		
	・簡易気密型ドアセット	A-3		
8 ステン製建具	(5.5.2)			
	種類	気密性	水密性	
	・簡易気密型ドアセット	A-3	W-1	
9 建具用金物	(5.5.5)			
	種類	気密性	水密性	
	・簡易気密型ドアセット	A-3	W-1	
10 自動ドア	(5.5.2)			
	種類	気密性	水密性	
	・簡易気密型ドアセット	A-3	W-1	
11 重量シャッター	(5.5.2)			
	種類	気密性	水密性	
	・簡易気密型ドアセット	A-3	W-1	
12 軽量シャッター	(5.5.2)			
	種類	気密性	水密性	
	・簡易気密型ドアセット	A-3	W-1	
13 オートヘッド	(5.5.2)			
	種類	気密性	水密性	
	・簡易気密型ドアセット	A-3	W-1	

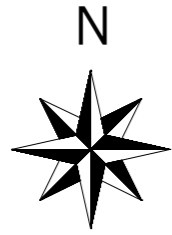
旧丸山中学校屋内運動場外装復旧工事			
改修工事 特記仕様書③			

11	カーペット	敷き織じゅうたん (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.1)			
		種別	バイル形状	帯電性	品質の程度
		・A種 ・B種 ・C種	・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用	※人体耐電圧 3KV以下	
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。			
		タフテッドカーペット (6.9.2)(6.9.3)(表6.9.2)			
		バイル形状・カット	バイル長さ(mm)	帯電性	工法
		・カットバイル ・ループバイル ・ベール・ループ併用		※人体耐電圧 3KV以下	・ゲリッパ-工法
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。			
		ニードルパンチカーペット (6.9.2)(d)(2)			
		厚さ(mm)	帯電性	備考	
・	※人体耐電圧3KV以下				
12	せっこうボード、 その他ボード及び 合板張り	タイルカーペット (6.9.2)(表6.9.2)			
		バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	電気抵抗(Ω)
		・カットバイル ※ループバイル	※500×500	※6.5	・適用しない
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。			
		敷き方 (6.9.3)(d)(2)			
		平場	※市松敷き	・模様流し	・
		階段部分	・市松敷き	※模様流し	・
		名称 種類 規格、区分等 厚さ(mm)			
		せっこうボード (GB-R)			壁 ※9.5(準不燃) ・1.5.0(不燃)
		うらぼ	・シージングせっこうボード (GB-S)		天井 ※9.5(準不燃) ・1.2.5(不燃) ・1.5.0(不燃)
ド	・強化せっこうボード (GB-F)		※1.2.5(準不燃) ・1.2.5(不燃)		
製	・せっこうボード (GB-L)		※9.5		
品	・不燃積層せっこうボード (GB-NC)	模様なし トラバーチン	※9.5(不燃) ※9.5(不燃)		
13	壁紙張り	ホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ (6.14.2)			
		種別	種類	厚さ(mm)	施工箇所
		・ビーズ法紙 ・押出法紙	・スチレンフォーム ・保温板2種b ・保温板3種b	・2.5 ・2.5	
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。			
		試験張り、見本焼き等 (6.16.3)(a)(3)			
		試験張り	・行う	※行わない	
		見本焼き	・行う	※行わない	
		工法 (6.16.1)(表6.16.6)(表6.16.7)			
		・積上げ張り	・壁タイル接着剤張り		
		14	断熱材	ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ (9.5.2)	
種別	種類			厚さ(mm)	施工箇所
・2級 ・3級	・2.5			※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所	
品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。					
上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。					
断熱材現場発泡工法 (9.5.3)					
難燃性	厚さ(mm)			施工箇所	
・2.5	・2.5			※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所	
上記保温材は、特定フロンを含まないものとする。					
15	接着剤			壁紙施工用でん粉系接着剤、UV樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ (7.1.3)(a)	
		※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする (7.1.3)(b)			
		・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)			
		種別 (7.2.2~7.2.7)(表7.2.1~7.2.7)			
		下地	種別		
		・木部	・RA種	※RB種	・RC種
		・鉄鋼面	・RA種	※RB種	・RC種
		・垂れめつき面	・RA種	※RB種	・RC種
		・モルタル面、プラスター面	・RA種	※RB種	・RC種
		・コンクリート、ALCパネル面	・RA種	※RB種	・RC種
・コンクリート、押出成形セメント板面	・RA種	※RB種	・RC種		
・せっこうボード、その他ボード面	・RA種	※RB種	・RC種		
※水性シーラー ・変性エポキシ樹脂プライマー					
16	7 塗装 改修 工事	建物内部に使用するUV樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ (7.1.3)(a)			
		※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする (7.1.3)(b)			
		・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)			
		種別 (7.2.2~7.2.7)(表7.2.1~7.2.7)			
		下地	種別		
		・木部	・RA種	※RB種	・RC種
		・鉄鋼面	・RA種	※RB種	・RC種
		・垂れめつき面	・RA種	※RB種	・RC種
		・モルタル面、プラスター面	・RA種	※RB種	・RC種
		・コンクリート、ALCパネル面	・RA種	※RB種	・RC種
・コンクリート、押出成形セメント板面	・RA種	※RB種	・RC種		
・せっこうボード、その他ボード面	・RA種	※RB種	・RC種		
※水性シーラー ・変性エポキシ樹脂プライマー					
17	7 塗装 改修 工事	建物内部に使用するUV樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ (7.1.3)(a)			
		※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする (7.1.3)(b)			
		・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)			
		種別 (7.2.2~7.2.7)(表7.2.1~7.2.7)			
		下地	種別		
		・木部	・RA種	※RB種	・RC種
		・鉄鋼面	・RA種	※RB種	・RC種
		・垂れめつき面	・RA種	※RB種	・RC種
		・モルタル面、プラスター面	・RA種	※RB種	・RC種
		・コンクリート、ALCパネル面	・RA種	※RB種	・RC種
・コンクリート、押出成形セメント板面	・RA種	※RB種	・RC種		
・せっこうボード、その他ボード面	・RA種	※RB種	・RC種		
※水性シーラー ・変性エポキシ樹脂プライマー					
18	7 塗装 改修 工事	建物内部に使用するUV樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ (7.1.3)(a)			
		※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする (7.1.3)(b)			
		・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)			
		種別 (7.2.2~7.2.7)(表7.2.1~7.2.7)			
		下地	種別		
		・木部	・RA種	※RB種	・RC種
		・鉄鋼面	・RA種	※RB種	・RC種
		・垂れめつき面	・RA種	※RB種	・RC種
		・モルタル面、プラスター面	・RA種	※RB種	・RC種
		・コンクリート、ALCパネル面	・RA種	※RB種	・RC種
・コンクリート、押出成形セメント板面	・RA種	※RB種	・RC種		
・せっこうボード、その他ボード面	・RA種	※RB種	・RC種		
※水性シーラー ・変性エポキシ樹脂プライマー					
19	7 塗装 改修 工事	建物内部に使用するUV樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ (7.1.3)(a)			
		※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする (7.1.3)(b)			
		・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)			
		種別 (7.2.2~7.2.7)(表7.2.1~7.2.7)			
		下地	種別		
		・木部	・RA種	※RB種	・RC種
		・鉄鋼面	・RA種	※RB種	・RC種
		・垂れめつき面	・RA種	※RB種	・RC種
		・モルタル面、プラスター面	・RA種	※RB種	・RC種
		・コンクリート、ALCパネル面	・RA種	※RB種	・RC種
・コンクリート、押出成形セメント板面	・RA種	※RB種	・RC種		
・せっこうボード、その他ボード面	・RA種	※RB種	・RC種		
※水性シーラー ・変性エポキシ樹脂プライマー					
20	7 塗装 改修 工事	建物内部に使用するUV樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ (7.1.3)(a)			
		※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする (7.1.3)(b)			
		・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所)			
		種別 (7.2.2~7.2.7)(表7.2.1~7.2.7)			
		下地	種別		
		・木部	・RA種	※RB種	・RC種
		・鉄鋼面	・RA種	※RB種	・RC種
		・垂れめつき面	・RA種	※RB種	・RC種
		・モルタル面、プラスター面	・RA種	※RB種	・RC種
		・コンクリート、ALCパネル面	・RA種	※RB種	・RC種
・コンクリート、押出成形セメント板面	・RA種	※RB種	・RC種		
・せっこうボード、その他ボード面	・RA種	※RB種	・RC種		
※水性シーラー ・変性エポキシ樹脂プライマー					

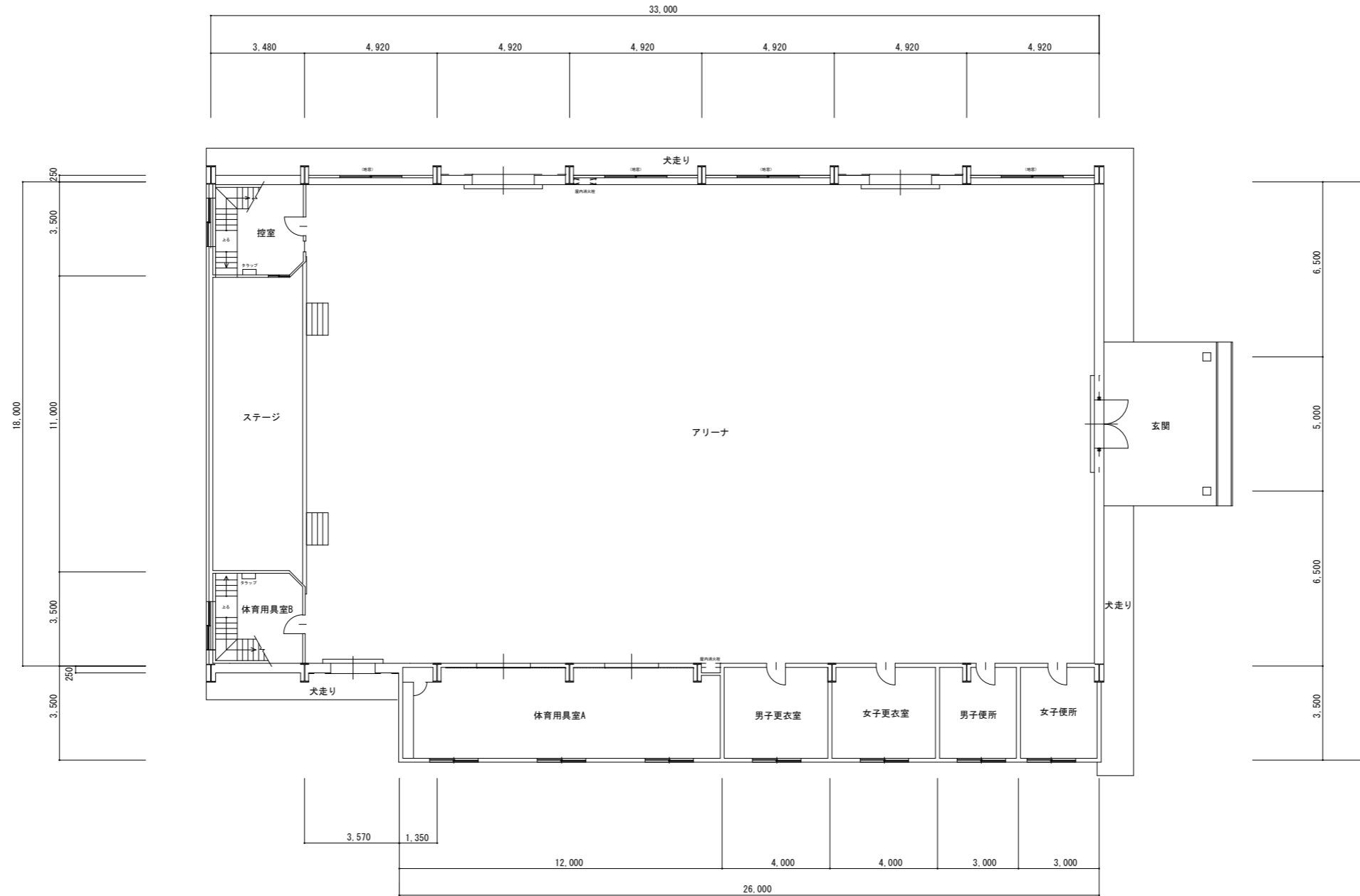
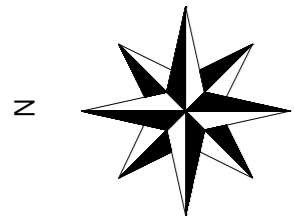
8	金属 工事	ステンレスの表面仕上げ (8.1)			
		種別	種類	施工箇所	
		・No.2程度 ・鏡面仕上げ		見え掛かり全て	
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。			
		1 盛り土に用いる材料 (9.1)			
		2 遮断層及び凍上抑制層の材料 (9.2)	・遮断層	※川砂、海砂又は良質な山砂	
		・凍上抑制層	※再生クラッシュラン	・クラッシュラン	切り込み砂利
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。			
		3 路床安定処理 (9.3)			
		※添加材料による安定処理種類	・普通ポルトランドセメント	・フライアッシュセメントB種	
・生石灰	( )	・消石灰	( )		
添加量	kg/㎡	(目標CBR ※3以上)			
9	舗装 工事	1 盛り土に用いる材料 (9.1)			
		2 遮断層及び凍上抑制層の材料 (9.2)			
		3 路床安定処理 (9.3)			
		4 路床土の支持力比試験 (9.4)			
		5 路床締め度度の試験 (9.5)			
		6 路盤材料 (9.6)			
		7 アスファルト舗装 (9.7.1)			
		舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類	
		※アスファルト舗装	※無し	※有	
		・カラー舗装	※無し	有り	
カラー舗装の着色骨材	・有色骨材(焼成)	・着色骨材(樹脂被覆)			
アスファルト	※再生アスファルト	・ストレートアスファルト			
加熱アスファルト混合物の種類	(9.7.2)				
区分	※一般地域	・寒冷地域			
表層	※密粒度アスファルト混合物(1.3)	※密粒度アスファルト混合物(1.3F)			
・細粒度アスファルト混合物(1.3)	細粒度ギャップアスファルト混合物(1.3F)				
基層	・粗粒度アスファルト混合物(2.0)				
シールコート	※行わない	・行う(施工範囲)			
アスファルト混合物の抽出試験	※行わない	・行う			
10	その他 工事	1 0			
		2			
		3			
		4			
		5			
		6			
		7			
		8			
		9			
		10			

4	合成樹脂 ペイント塗り (SOP)	塗料種別 ※1種 (7.4.2)					
		種別	種類 (7.4.3~7.4.5)(表7.4.1~7.4.3)				
		・下地	種別				
		・木部	・A種	※B種	・C種		
		・鉄鋼面	・A種	※B種	・C種		
		・垂れめつき面	・A種	※B種	・C種		
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。					
		5 フタル酸樹脂 エナメル塗り (FE) (7.5.2~7.5.3)(表7.5.1~7.5.2)					
		種別	種類				
		・下地	種別				
・木部	・A種	※B種	・C種				
・鉄鋼面及び垂れめつき面	・A種	※B種	・C種				
6	アクリル樹脂系 非水分散形塗料	種別 (7.6.2)(表7.6.1)					
		種別	種類				
		・A種	※B種				
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。					
		7 アクリル樹脂 エナメル塗り (AE) (7.7.2)(表7.7.1)					
		種別	種類				
		・A種	※B種				
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。					
		8 2液形リキッド エナメル塗り (2-UE) (7.8.2~7.8.4)(表7.8.1~7.8.3)					
		種別	種類				
鉄鋼面	※A種	・B種					
垂れめつき面	※A種	・B種					
コンクリート及び押出成形セメント板面	・A種						
・B種							
9	7 別材 エナメル塗り (2-ASE)	種別 (7.9.2~7.9.4)(表7.9.1~7.9.3)					
		種別	種類				
		鉄鋼面	・A種				
		垂れめつき面	・A種				
		コンクリート及び押出成形セメント板面	・A種				
		・B種					
		10	常温乾燥形 ふっ素樹脂 エナメル塗り (2-FUE)	種別 (7.10.2~7.10.4)(表7.10.1~7.10.3)			
				種別	種類		
				鉄鋼面	・A種		
				垂れめつき面	・A種		
コンクリート及び押出成形セメント板面	・A種						
・B種							
11	つや有合成樹脂 エナメル塗り (EP-G)			種別 (7.11.2)(表7.11.1)			
				種別	種類		
				・A種	※B種		
				品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。			
		12 合成樹脂エポキシ ペイント塗り (EP) (7.12.2)(表7.12.1)					
		種別	種類				
		・A種	※B種				
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。					
		13 多彩模様 塗料塗り (EP-M) (7.13.3)(表7.13.1)(表7.13.3)					
		種別	種類				
コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、木部	・A種						
鉄鋼面及び垂れめつき面	・A種						
14	合成樹脂 エポキシ模様 塗料塗り (EP-T)	種別 (7.14.2)(表7.14.1)					
		種別	種類				
		・A種	※B種	・C-1種	・C-2種		
		・C-3種					
		品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。					
		15 ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC) (7.15.2)(表7.15.1)					
		種別	種類				
		木部	・A種	※B種	・既設床面がガ-掛けのうえ、3回塗り		
		※無黄変型水性1液ウレタン樹脂塗料(屋内床 程度)					
		16	7 塗装 改修 工事	種別 (7.16.2)(表7.16.1)			
種別	種類						
木部	・A種						
・B種							
品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。							
17 水溶性水性 ワニス塗り (OS) (7.17.2)(表7.17.1)							
種別	種類						
木部	・A種						
・B種							
品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。							
18 屋内水系塗料 (7.18.2)(表7.18.1)(表7.18.1)(表7.18.2)							
種別 (既存塗膜がSOP、VP塗等をEP-G塗に塗替える場合)	種類						
木部	・A種	※B種	・C種				
鉄鋼面	・A種	※B種	・C種				
その他	※RC、モルタル、石膏ボード面下地等の塗替え及び新規	(※11節 ※12節 ※14節)を適用とする					
19	水性 ワニス (SUC)	種別 (7.19.2)(表7.19.1)					
		種別	種類				
		木部	汚れ・付着物除去のうえ、水性ワニス1回、水性ワニス3回塗り				
		※無黄変型水性1液ウレタン樹脂塗料(屋内外 程度)					
		20 打放し保護材 (7.20.2)(表7.20.1)					
		種別	種類				
		・塗布	2回 (程度)				

旧丸山中学校屋内運動場外装復旧工事	
改修工事 特記仕様書④	



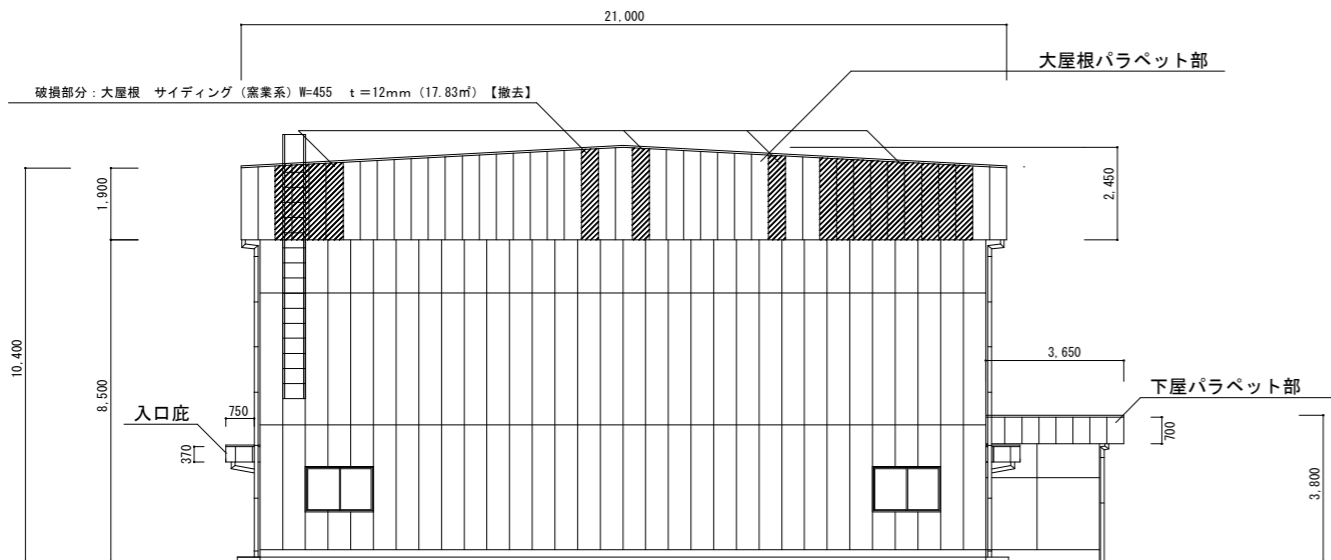
工事名	旧丸山中学校屋内運動場外装復旧工事		
図名	配置図		
縮尺	A3 1/500		



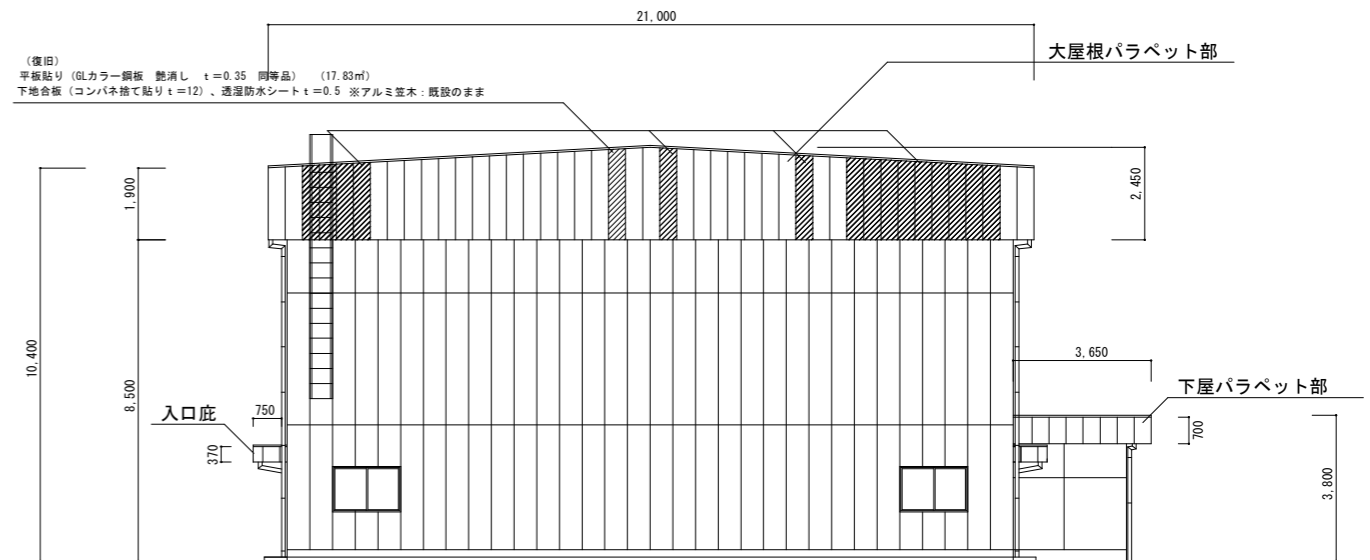
工事名	旧丸山中学校屋内運動場外装復旧工事		
図名	平面図		
縮尺	A3	1/200	

改修前

改修後



北立面図 S = 1/200



北立面図 S = 1/200

【備考】  
 ・撤去を行う前に、調査を行い監督員に報告する。そして、施工数量が変わる場合、監督員と協議を行う。  
 ・撤去する際、撤去体に番号をふり撮影記録をする。

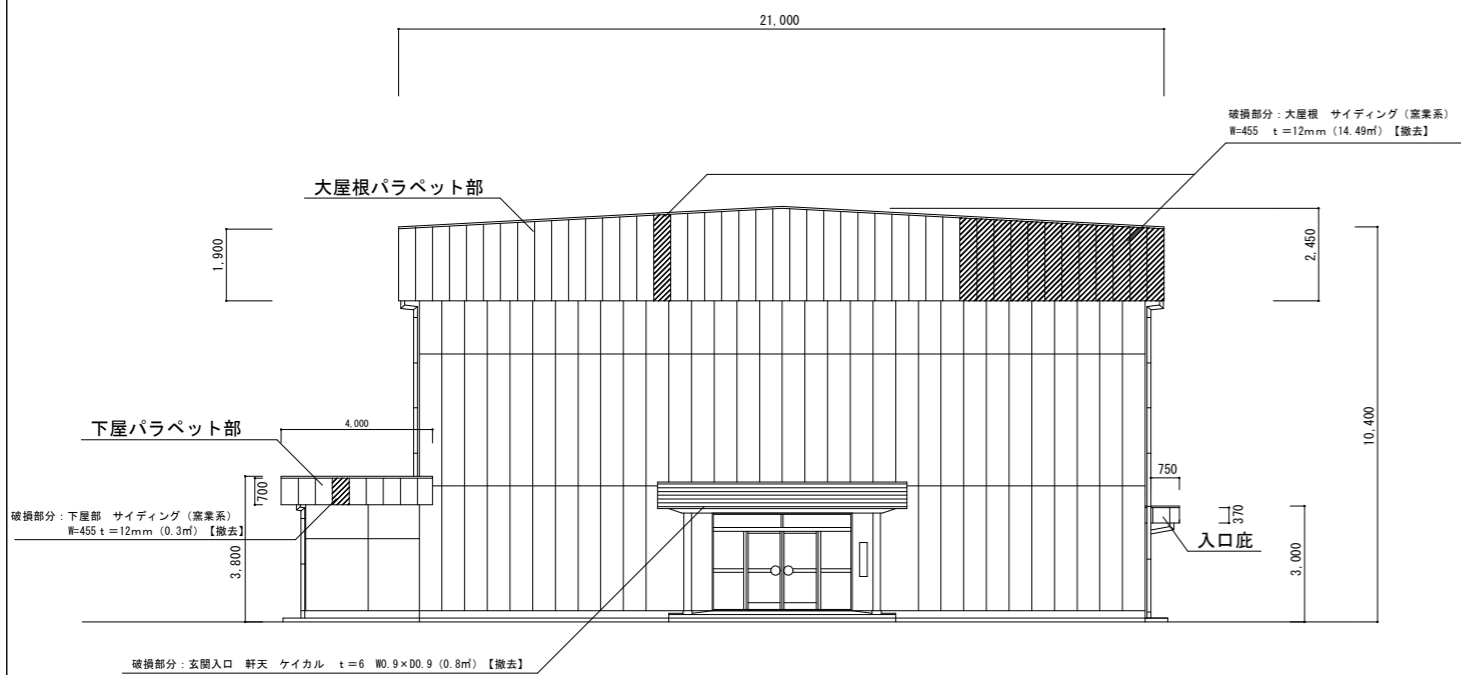
※現状調査  
 調査範囲・・・既存外壁サイディングを指す (全面)  
 調査方法・・・目視、打診並びに接触等による確認  
 提出書類・・・調査報告書 (A4)、調査写真を作成し提出する。

【凡例】  
 : 改修部分を示す

旧丸山中学校屋内運動場外装復旧工事		
改修工事 北立面図		
縮尺	1/200	

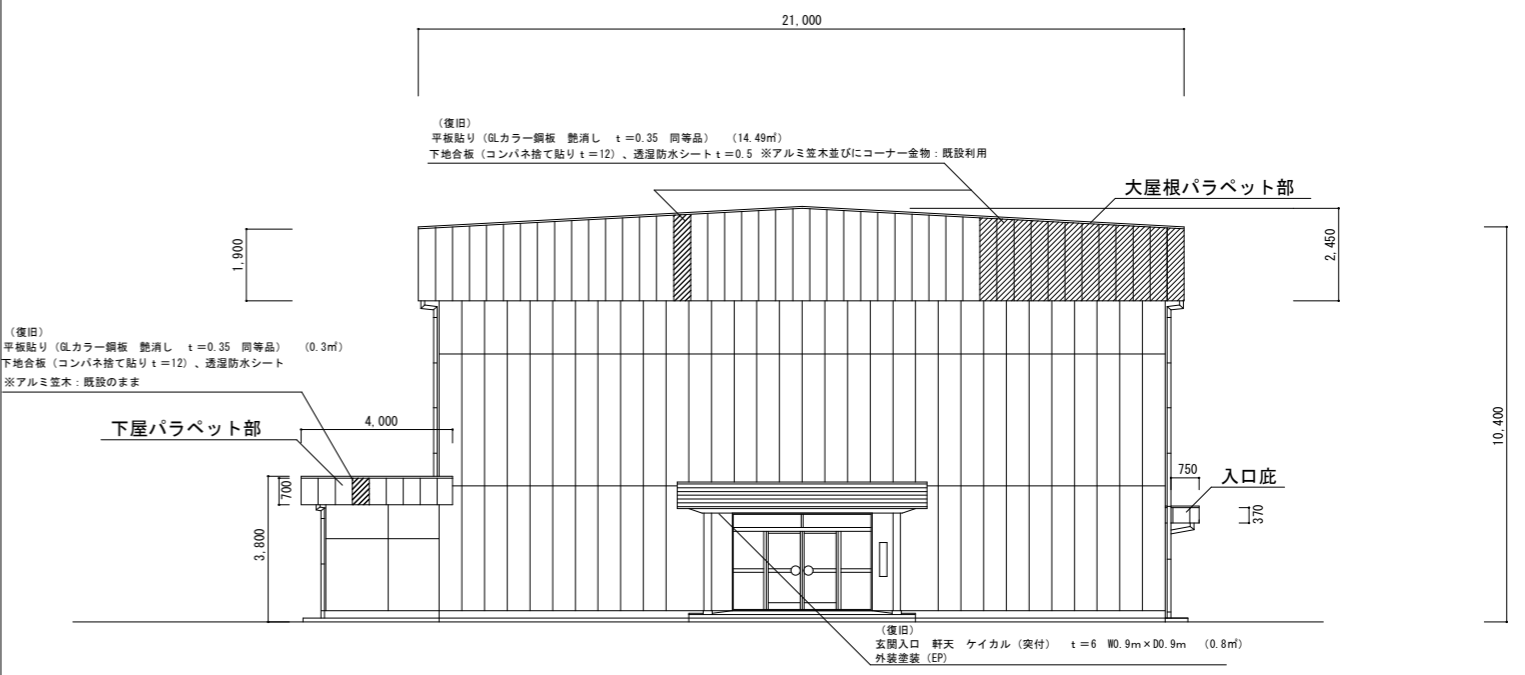


改修前



南立面図 S = 1/200

改修後



南立面図 S = 1/200

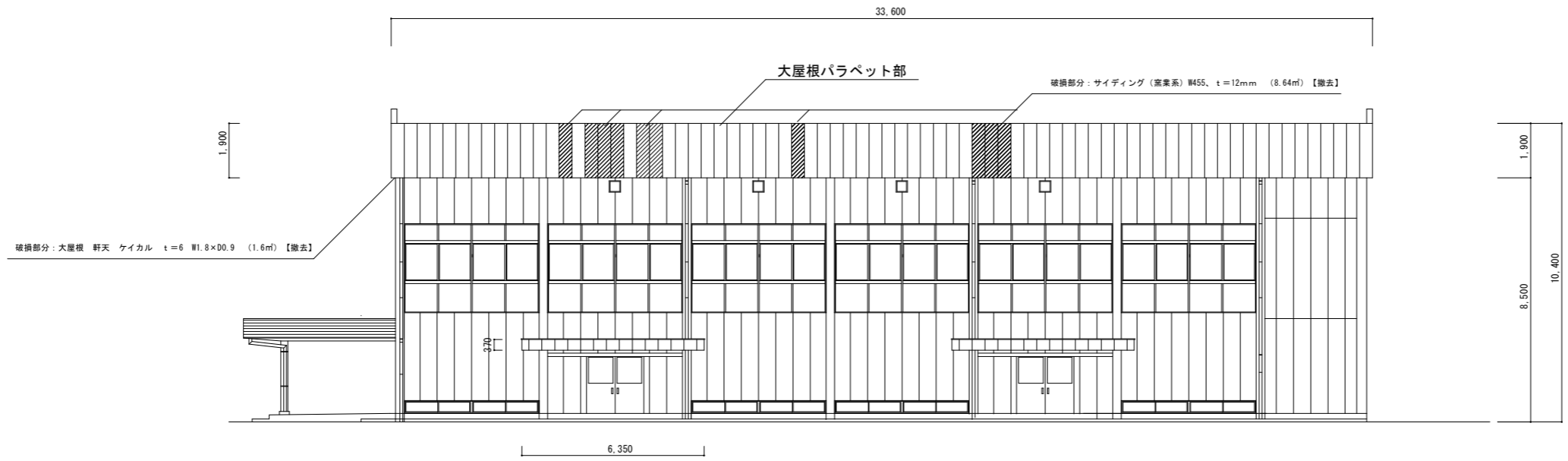
【備考】  
 ・撤去を行う前に、調査を行い監督員に報告する。そして、施工数量が変わる場合、監督員と協議を行う。  
 ・撤去する際、撤去体に番号をふり撮影記録をする。

※現状調査  
 調査範囲・・・既存外壁サイディングを指す（全面）  
 調査方法・・・目視、打診並びに接触等による確認  
 提出書類・・・調査報告書（A4）、調査写真を作成し提出する。

【凡例】  
 : 改修部分を示す

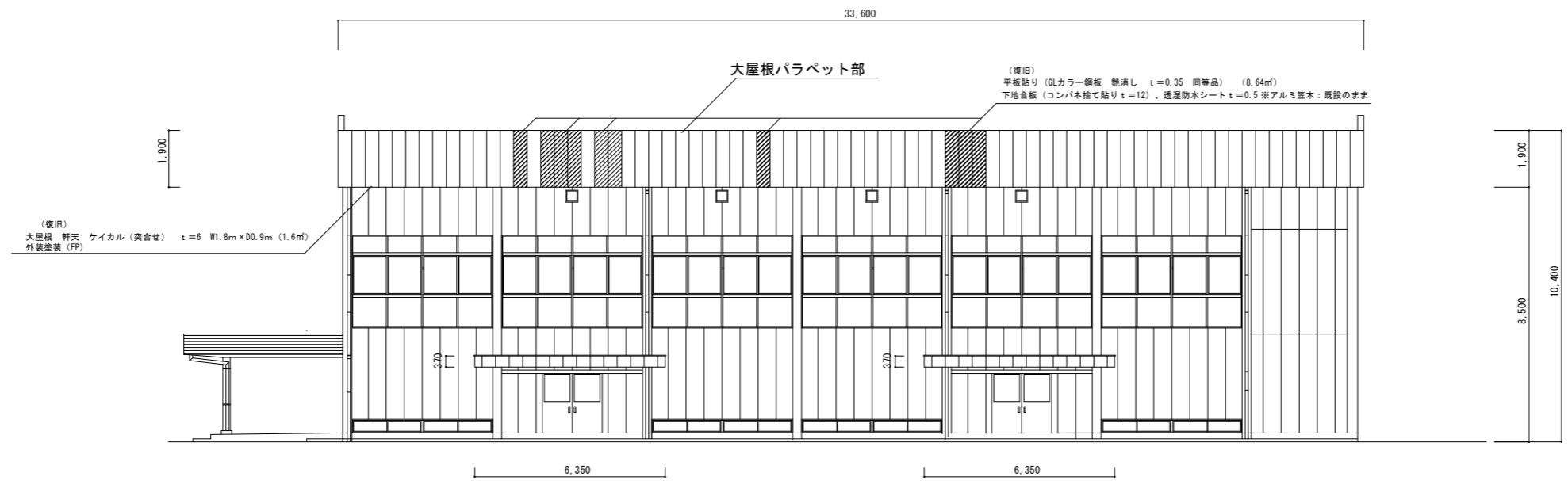
旧丸山中学校屋内運動場外装復旧工事		
改修工事 南立面図		
縮尺	1/200	

改修前



東立面図 S = 1/200

改修後



東立面図 S = 1/200

【備考】  
 ・撤去を行う前に、調査を行い監督員に報告する。そして、施工数量が変わる場合、監督員と協議を行う。  
 ・撤去する際、撤去体に番号をふり撮影記録をする。

※現況調査  
 調査範囲・・・既存外壁サイディングを指す (全面)  
 調査方法・・・目視、打診並びに接触等による確認  
 提出書類・・・調査報告書 (A4)、調査写真を作成し提出する。

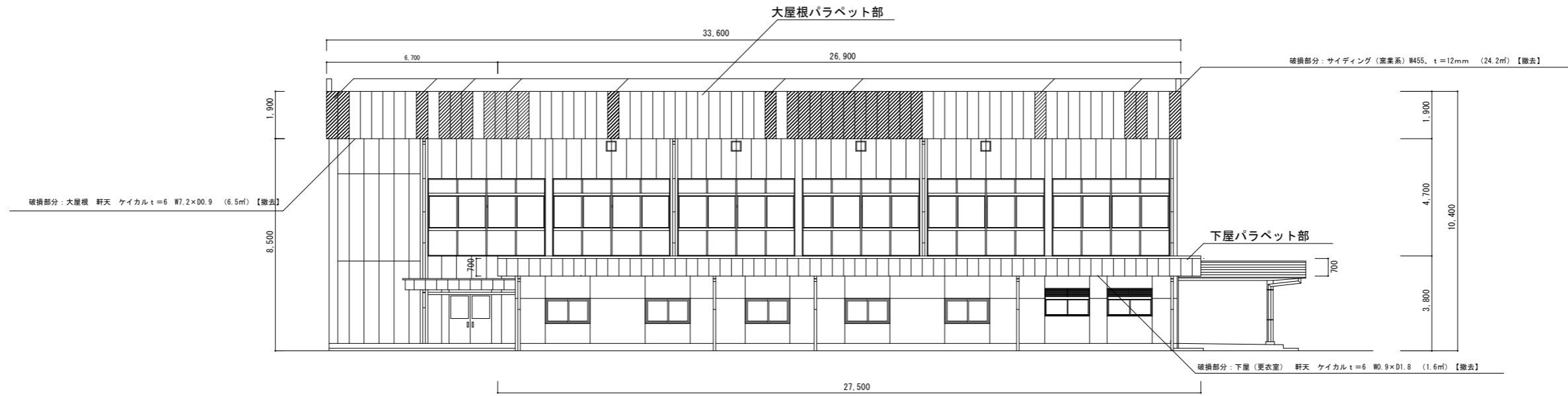
【凡例】  
 : 改修部分を示す

旧丸山中学校屋内運動場外装復旧工事

改修工事 東立面図

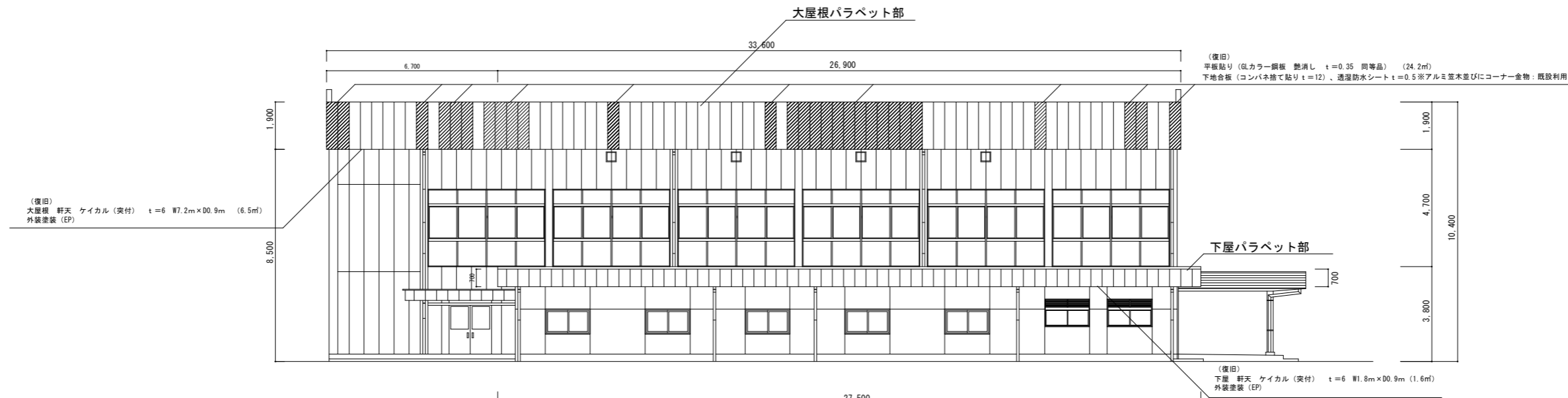
縮尺 1/200

改修前



西立面図 S = 1/200


改修後



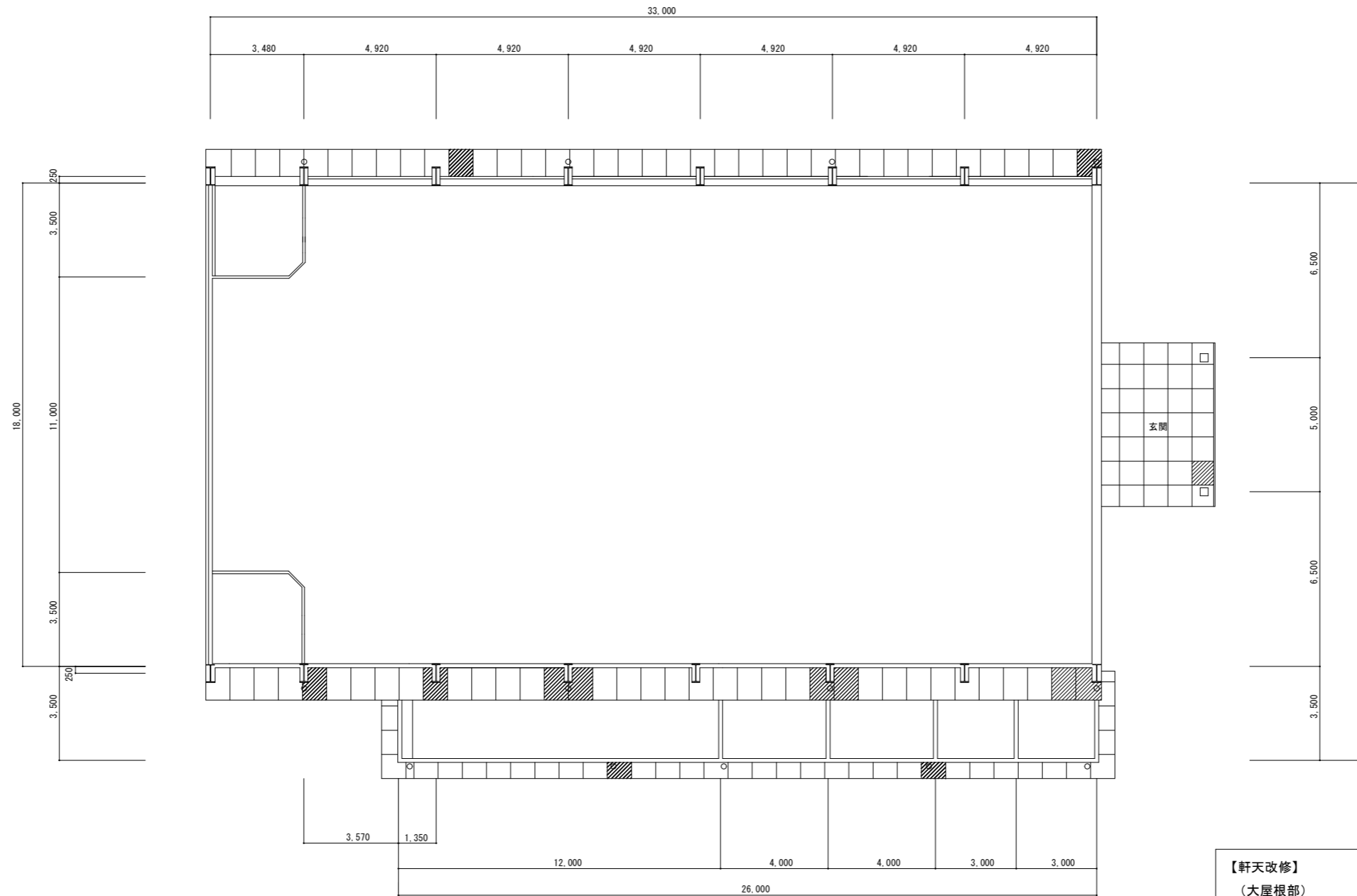
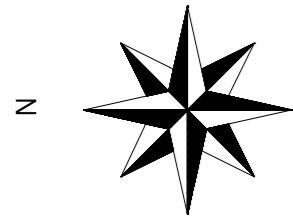
西立面図 S = 1/200

【備考】  
 ・撤去を行う前に、調査を行い監督員に報告する。そして、施工数量が変わる場合、監督員と協議を行う。  
 ・撤去する際、撤去体に番号をふり撮影記録をする。

※現状調査  
 調査範囲・・・既存外壁サイディングを指す (全面)  
 調査方法・・・目視、打診並びに接触等による確認  
 提出書類・・・調査報告書 (A4)、調査写真を作成し提出する。

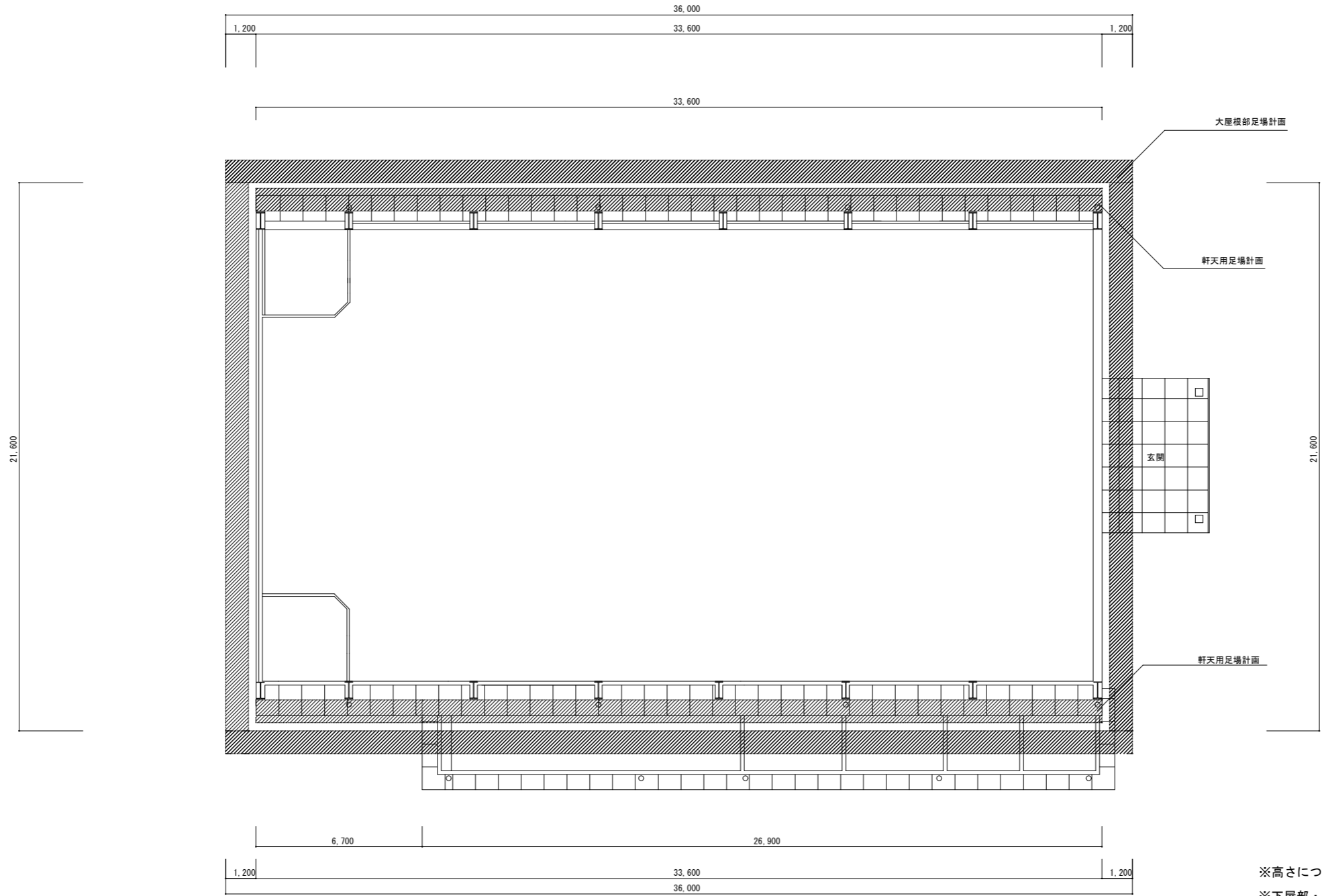
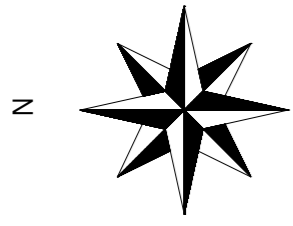
【凡例】  
 : 改修部分を示す

旧丸山中学校屋内運動場外装復旧工事		
改修工事 西立面図		
縮尺	1/200	



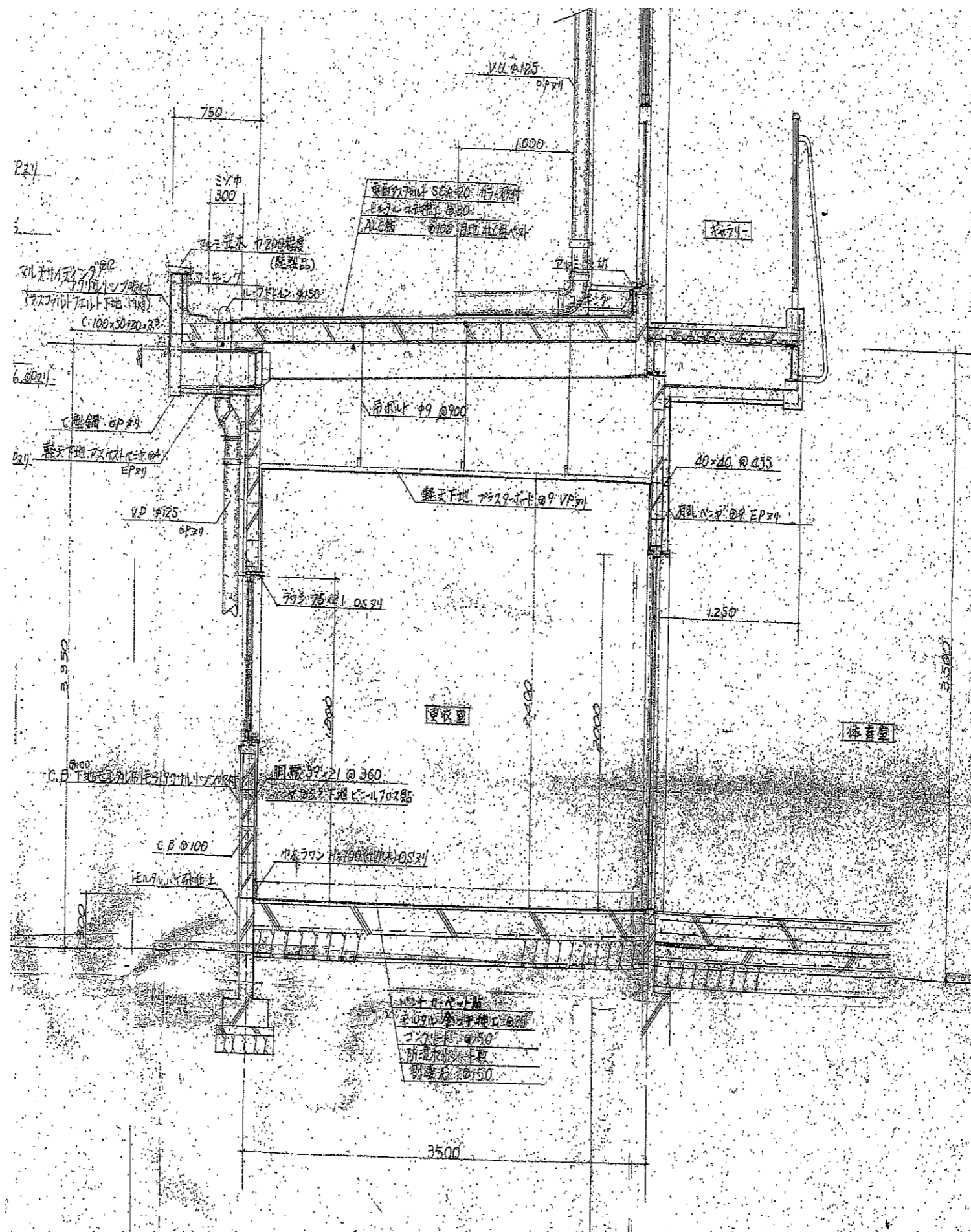
【軒天改修】  
 (大屋根部)  
 (東面)  $1.8\text{m} \times 0.9\text{m} = 1.6\text{m}^2$  (2枚分)  
 (西面)  $7.2\text{m} \times 0.9\text{m} = 6.5\text{m}^2$  (8枚分)  
 (下屋部)  
 (西面)  $1.8\text{m} \times 0.9\text{m} = 1.6\text{m}^2$  (2枚分)  
 (玄関部)  
 $0.9\text{m} \times 0.9\text{m} = 0.8\text{m}^2$  (1枚分)

工事名	旧丸山中学校屋内運動場外装復旧工事		
図名	伏せ図		
縮尺	A3	1/200	



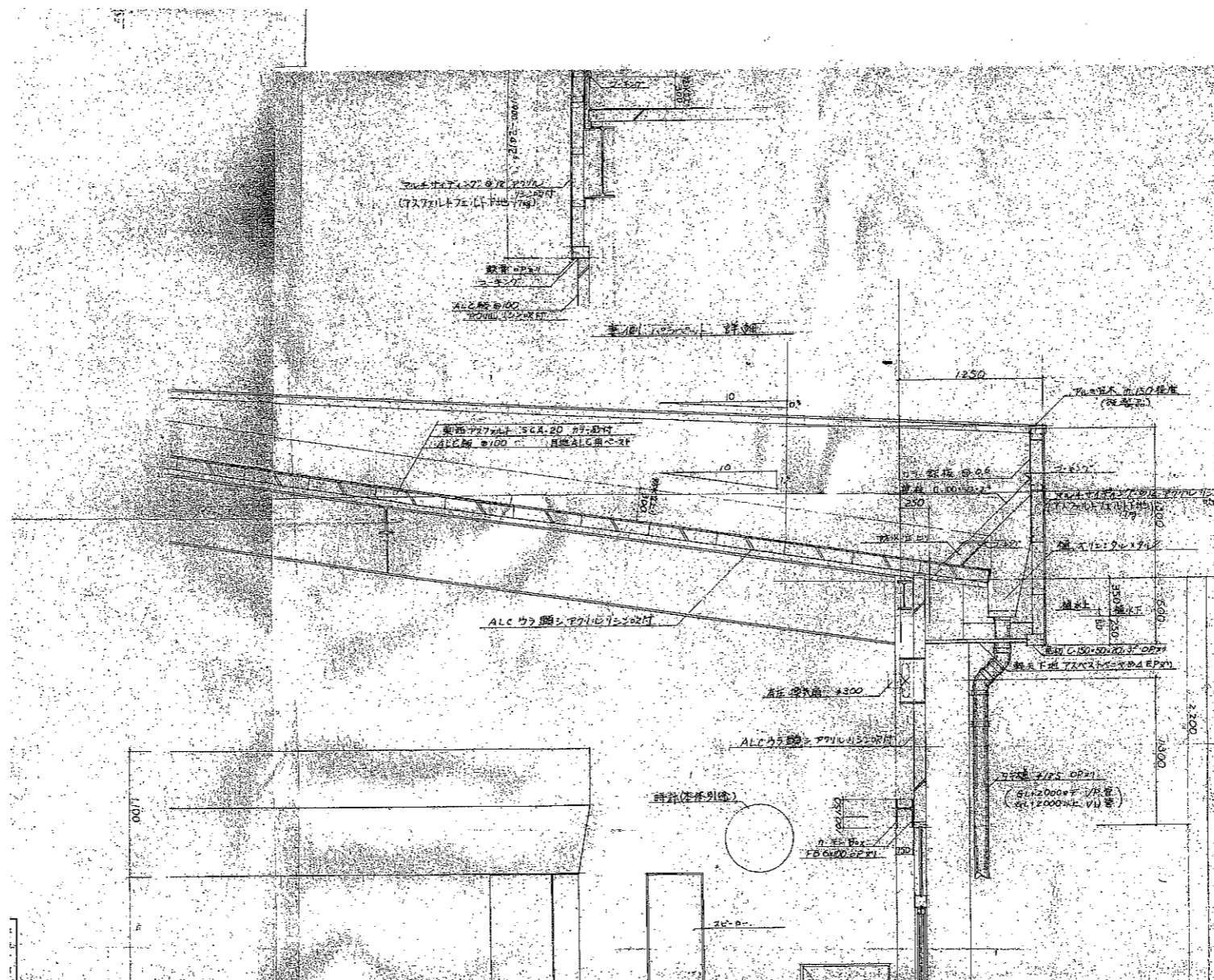
※高さについて、立面図参照。  
 ※下屋部・玄関部について、脚立足場とする。

工事名	旧丸山中学校屋内運動場外装復旧工事		
図名	足場計画図		
縮尺	A3	1/200	



旧丸山中学校屋内運動場外装復旧工事

矩計図 (参考図)



旧丸山中学校屋内運動場外装復旧工事

矩計図

(参考図)